

2014年 岩手県サッカー協会キッズ委員会
2014年度 キッズ指導方針

平成26年4月12日(土)
キッズ委員長 瀬谷 圭太

- 1 サッカーを楽しむ子どもの育成
 - ・サッカーの指導に携わる私たちの目標は、「サッカーを楽しむ子どもの育成」です。そのために、スタッフや関わってくれる大人で心を一つにして頑張りましょう。
- 2 指導の質の向上
 - ・「サッカーを楽しむ子どもの育成」を実践し、レベルアップさせるためには、「指導の質の向上」が必要です。
 - ・「指導の質の向上」のためには、みんなで指導について真剣に考えることが、ほしいと思います。
 - ・そのために、スタッフ研修会などを開催したいと思います。
 - ・指導者の意識をそろえるために今年の合い言葉を決めました。

★IWATE KIDS WAY 4箇条

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">① 「OPEN MIND」で人の意見に耳を傾け、プラスに考える思考。② 「HARD WORK」を心がけ、常に人のために尽くすために考えて全力で動く行動。③ 「GREEN CARD」に代表される相手をリスペクトし、ルールを守る姿勢。④ 「TEAM WORK」を考え、仲間とともに心を一つに全力を尽くす集団。 <p>* 下線部を合わせると「IWATE」となります！</p> |
|---|

・また、上記の4箇条を進めるに当たり、具体的な行動の目安の一つを提示します。

★4つの「あ」

- | | |
|---------|----------------------|
| あいさつ | いつでもどこでも礼儀正しくしましょう。 |
| あくしゅ | コミュニケーションをとりましょう。 |
| アイコンタクト | コミュニケーションを目でもとりましょう。 |
| ありがとう | 感謝の気持ちを持ちましょう。 |

この4つの頭文字「あ」を大切にしていきましょう

3 2014年度の柱

- ① 指導の質の向上
- ② さらなる岩手キッズサッカーの推進
 - ・巡回指導 : Jクラブとの連携、沿岸の復興に尽力、大学との連携。
 - ・フェスティバル: レガシープログラム、高校生とタイアップ。
 - ・指導者養成 : トレセンとの連携、女子人口増大の取り組み。
- ③ 新しい試みにチャレンジ
 - ・小学校体育サポート
 - ・エリートプログラムの推進
などなど。

4 最後に

★ロジェ・ルメール

「我々指導者は、学ぶことをやめた時、教えることをやめなければならない」 (元フランス代表監督)
--

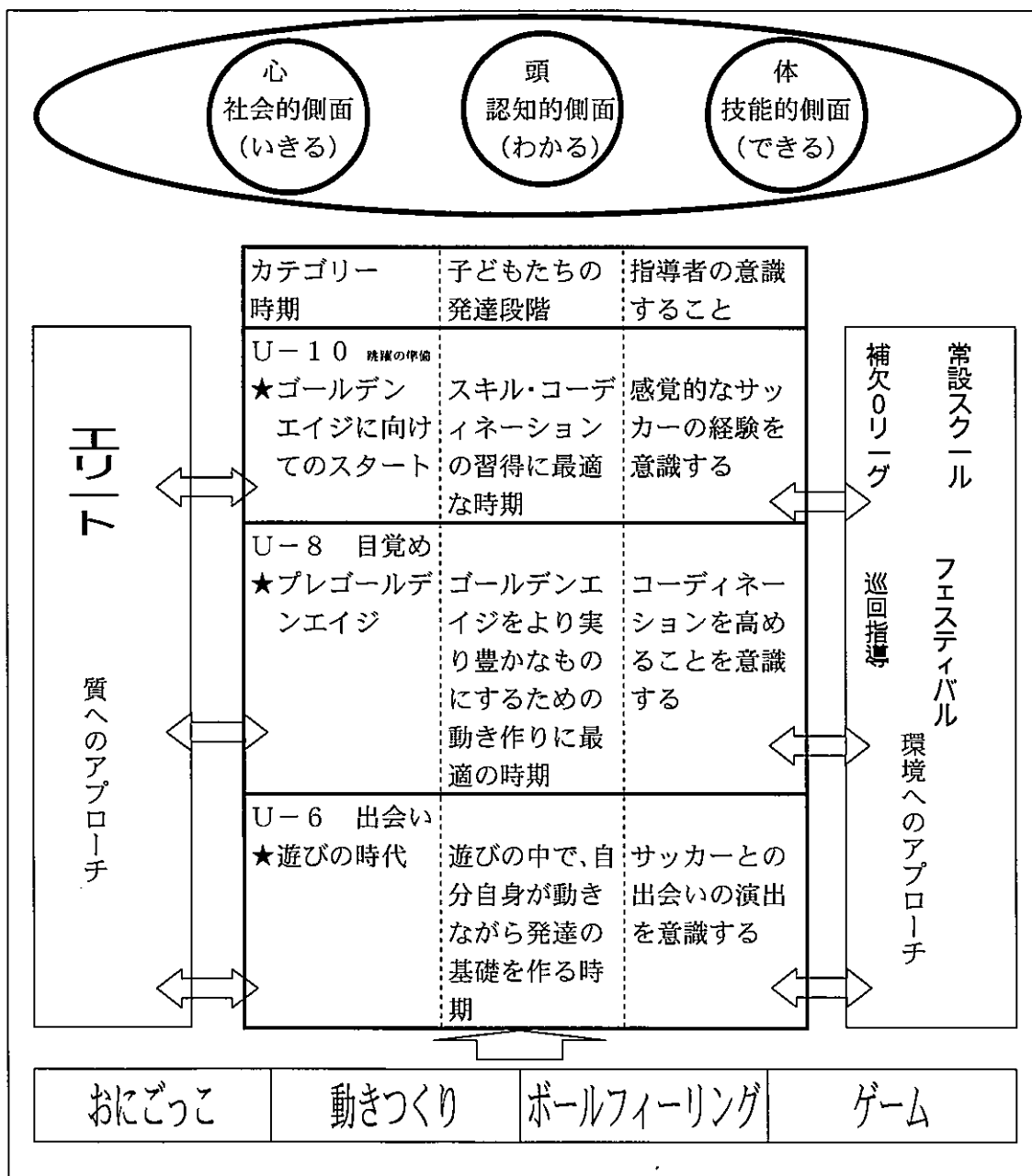
Road to Enjoy soccer!

～サッカーを楽しむための道～

サッカーを楽しむ子どもの育成

「サッカーを楽しもう！」

1 キッズ全体像



2 指導者が意識すること

頭 わかる Brain 認知的側面	技 できる Ball control 技能的側面	体 できる body balance 技能的側面
<p>サッカー理解</p> <p>◎目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スモールサイドゲームを活用し、Tactical Awareness (サッカーのイメージ、戦術の気づき) の導入をする <p>★意識して育成すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判断力 ・創造力 <p>○スローガン</p> <p>「次どうしよう？」</p> <p>◆具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼ごっこを通して、判断力。 ・論理的思考 	<p>サッカー理解</p> <p>◎目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールフィーリングをキッズ年代でマスターしたい。 ・左右差異なくできるように ・ストレスなく顔が上がり周りが観られる準備を。 <p>★意識して育成すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールフィーリング <p>【キッズ年代でマスターしたい】</p> <p>○スローガン</p> <p>「ボールは友達！」</p> <p>◆具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブル ・スクリーン&ターン ・フェイント ・キック ・多種多様なキック ・左右の差がなく蹴る ・コントロール ・止める 	<p>サッカー理解</p> <p>◎目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身コーディネーションを高める。 ・運動学習能力・神経系トレーナビリティを高める。 ・新しい状況、課題に対応する力を高める。 <p>★意識して育成すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーション ・体づくり <p>○スローガン</p> <p>「きたえようからだ！」</p> <p>◆具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼ごっこや体づくりを通しての鍛錬。 ・コーディネーショントレーニングを用いる
<p>心 いきる</p> <p>Heart</p> <p>社会的側面</p>		
<p style="text-align: center;">自立</p> <p>★意識して育成すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しむ : 勝ってうれしい、負けて悔しい、次がんばろう。 ・自我欲求 : 「僕を見て！」の気持ちに答えてあげられる指導 ・夢を持つ : 夢を持つ。あこがれを持つ。夢があれば強くなる。 ・フェアプレー : グリーンカードの推奨 ・全力でプレー : 一生懸命の心地よさを味わわせる。 ・成功と失敗 : 失敗しても、次に気持ちを切り替える。チャレンジの心 ・友達・仲間 : 協力する心 ・しつけ : ルールや決まりを教える。 <p>○スローガン</p> <p>「仲良く楽しもう！」</p>		

3 指導の考え方

(1) 大原則

- ・個人差に対応した個への働きかけ
個が各自に応じて、最適に伸びていけるように指導環境を整える。
 - 指導の質の向上
 - 個が伸びられることを可能にするための場、体制、指導者の整備。

(2) 楽しむ

- ・サッカーの楽しさを味わってもらえる環境を整える
からだを動かすことが楽しい！うれしい！おもしろい！
スポーツの感動を多くの子どもたちに経験させたい。
出会い → 目覚め → 覚醒
- ・勝ってうれしい！シュートを入れてうれしい！
負けて悔しい… 負けたくない！
これらの経験、表現を大切にしたい。

(3) 学習

- ・楽しむだけからの脱却も考える。
- ・よりよくやらせて、学習させる。
- ・良い環境を与えて、どんどんプレーさせる中で、成長を促す。
- ・「サッカーを学ぶ」から「サッカーで学ぶ」への変換。

(4) 環境～場でしむける～

- ・目的を持ち、場の設定により様相が変わることを意識。
- ・意図を持って使い分ける

(5) 様々な経験

- ・論理的思考、様々な運動・他競技、感動体験、様々な人との交流など。
サッカー選手としての大成のために、また、人としての成長のために。
「サッカーを学ぶ」から「サッカーで学ぶ」への変換。

(6) 発育発達に応じたアプローチ

- ・低年齢からレンガを積み上げていくことが成長・育成・強化に不可欠。
- ・レンガの積み上げとは、その時期に最も有効な刺激を与えていくこと。
 - ↓
- ・「自分たちの扱っている選手は、日本代表とは関係ない」ではなく、日本代表に入る可能性のある選手（orではなく、andの選手）を多くすることが、代表の層を厚くしてレベルを上げることに繋がる。
- ・攻守に関わり続ける選手を育成するためには、低年齢からのレンガを隙間を空けることなく積んでいくことが必要。

4 指導に関わる環境整備

★子どもたちが、楽しくサッカーをすることができる環境作りを行う。

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのためにという強い思い ・質の高い指導 ・連携のとれた指導 ・中央講師招聘 ・キッズに関わるスタッフ1000人以上へ。 ・岩手県内全ての市町村でキッズリーダーを配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール1人1個 ・ゴール1組以上、各地区に保管 ・ビブス、コーン、マーカーの常備 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド、体育館の常時確保。 ・早めの日程調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・IFA予算からの常時30%の確保 ・受益者負担の事業の拡大 ・スポンサーの確保 	目標
<ul style="list-style-type: none"> キッズリーダーリフレッシュ研修会 キッズリーダー養成 キッズリーダーインストラクター育成 	JFA,IFAとの連携	各地域の体育施設との連携	JFA,IFAとの連携	方法
人	もの	場所	費用	項目

↑

キッズ事業に関わるスタッフ

↑

岩手県サッカー協会 キッズ委員会

5 「サッカーを楽しもう！」

1～4に掲げたことは、岩手県サッカー協会キッズ委員会が、目指す指導の方向性を指し示すものです。特に1は、U-6からU-10までの道筋が、一目で分かるように挙げました。このような思いを持って、子どもたちがサッカーを楽しめる環境を整えていきたいと思えます。

「子どもたちがサッカーを楽しむために」この目的のために、私たちキッズに関わる指導者が、全力でがんばることが必要だと思えます。一人ではできません。みなさんの力が必要です。

子どもたちのために一緒にがんばりましょう！

6 指導者の心構え

(1) グリーンカード

- ・子どもたちのすてきな行動を見てあげてください。いいことをしたときに、ポジティブなフィードバックがあることで、子どものフェアプレー精神は育っていきます。
- ・最後まで一生懸命にがんばった子、素直に自分から正しいことが言えた子、転んだ友だちを助けてあげた子、上手なプレーをした子などなど、指導者が子どもたちのすてきなところを見つけて、ほめて伸ばしていきましょう。
- ・指導の際には、グリーンカードを携行し、1回の指導につき1回はグリーンカードを出すように心がけてみると、子どもたちも私たちも幸せな気持ちになりますね。

(2) 4つの「あ」

- ・指導の時には、いつも下記に提示する4つの「あ」を心がけましょう。
 - ① あいさつ : 礼儀を教えましょう。
 - ② あくしゅ : コミュニケーションを取りましょう。
 - ③ アイコンタクト : 目を見て話しましょう。
 - ④ ありがとう : 感謝の気持ちを伝えましょう。

(3) リスペクト

- ・指導者として、人間として、誰にでも同じスタンスで接することが大切です。同じ人間として、相手をリスペクト（尊敬）する気持ちを忘れずに接していきましょう。
- ・指導に体罰や暴力行為はいりません。相手をリスペクトしながら、指導者の指導力を向上させましょう。そのためには、初心に戻り、「Open Mind」の心で学びましょう。
- ・JFA キッズ指導ガイドライン（U-6）の47ページにある「子は親の鏡」の考え方をいつも心に置いておきましょう。
- ・詳しくはJFAホームページの「JFA STATEMENT」を見て下さい。

平成25年4月13日設定

（文責：岩手県サッカー協会 キッズ委員会 委員長 瀬谷圭太）

過去・現在・未来そして今、進む道

(通称：岩手キッズ・ウェイ IWATE KIDS WAY)

平成26年2月15日(土)

岩手県サッカー協会キッズ委員会

委員長 瀬谷 圭太

1 はじめに

キッズプロジェクトを開始して10年が経ちました。岩手県サッカー協会(以降、岩手FAと称する)キッズ委員会では、日本サッカー協会(以降、JFA)からの指導の下、岩手県内のサッカー指導者と協力してU-10、U-8、U-6年代の普及・育成に力を注いできました。

県としても振り返りをしているところに、JFAのM3M5ジョイントミーティングでも10年の振り返りをしました。その際に各FAに科された課題は、現状の課題を見据えつつ、これから何をするのかを明確にすることでした。

ここから改めて、振り返りをするとともに、現在の課題を挙げ、これからの未来に何をしていくのか、また、そのために今何をするのかを考えました。

このIWATE KIDS WAYを考えることで、これから岩手子どもたちのために何をするのか、指導者は何をするのかを明確にすることにしました。

2 IWATE KIDS WAY

(1) 過去 ～これまでの成果～

① 組織作り

- ・キッズ委員会を作る。
- ・各種別の担当者を決める。
- ・各担当者毎に年間計画の立案を課す(2012年より)
- ・キッズリーダー講習会の定期開催。
- ・ロードマップの作成(2012年より。岩手県FAホームページに掲載中)

② 様々な取り組み

- ・補欠0リーグ…補欠を作らないリーグ戦の開催
(盛岡市、花巻市、北上市、一関市、宮古市で開催)
- ・巡回指導 …県内8割以上の市町村に年間320回前後指導中。
(156の幼稚園、保育園、小学校、学童保育所。)
*岩手県内幼稚園保育園数：500施設とカウント。

巡回指導訪問割合 約31%

- ・エリート …希望者によるエリートプログラムの実施。
(盛岡市、奥州市で開催)
県内外のエリートやスポ少と交流会を継続実施中。
クーバーコーチングを招聘しての研修会を子どもたちに行った。
- ・指導者養成 …スタッフ研修会の開催
(キッズリーダーを持っている方対象の研修会)。
外部講師を招聘しての研修会
(2012年はJEF千葉より招聘。
2013年はクーバーコーチングから招聘。)
- ・フェスティバル…2013年度は12回開催
(県内10市町村で開催)
2011年より北上翔南高等学校とタイアップし、高校生によるフェスティバルの開催を実施中。
また、2013年はレガシープログラムでのフェスティバルとして開催。
*岩手県内市町村数：33市町村
フェスティバル開催割合 30%

③ 会議への参加

- ・JFAM3M5 ジョイントミーティング
ユースダイレクターの高原さんに参加していただく。
- ・北海道・東北地区ジョイントミーティング
岩手は2010年に開催(鶯宿温泉森の風で開催。ユニクロと併せて開催。)
- ・トレセン委員会、ユース部会への参加
ユースダイレクター、47FA チーフインストラクターの声かけで実現。

④ 人口増大

⑤ 協会との連携

- ・ユースダイレクターとの連携
- ・47FA チーフインストラクターとの連携
特に、C級リフレッシュ講習会におけるキッズリーダー講習会の開催。

(2) 現在 ~現状の課題~

- ① 指導の質の向上
- ② 目標の設定
- ③ 多種別の指導者との連携

- ④ その他
- (3) 未来その1 ～2014年の目標～
- ①巡回指導
- ・巡回指導者を集めてのミーティングや指導実践の実施。
 - ・Jクラブとの連携
 - ・大学との連携
- ②フェスティバル
- ・レガシープログラムでのフェスティバルの実施。
 - ・高校生が運営・指導をするフェスティバルの実施。
 - ・女子高校生が運営・指導をするフェスティバルの実施。
 - ・開催案内の配布方法の工夫。
具体的には、教育委員会、学校を取り込んで家庭に届ける方法の画策。
 - ・フェスティバルにおいて、グラスルーツを意識した「ビギナーコース」や「なでしこコース」の設定。
- ③指導者養成
- ・C級リフレッシュ講習会でのキッズリーダー講習会の継続開催。
 - ・女子人口増大のために、女子高校での講習会の実施。
 - ・トレセン委員会メンバーに、キッズを理解してもらうための講習会の実施。
- (4) 未来その2 ～10年後までに達成する目標～
- ・巡回指導
県内全ての市町村に毎年1回以上巡回指導で訪問する（現在80%訪問中）
サッカーの楽しさを伝える活動を行う。
 - ・フェスティバル
県内20の市町村で毎年1回以上フェスティバルを開催する（現在10市町村）
たくさんの友達とふれあう機会を作る活動を行う。
 - ・指導者養成
毎年10回のリーダー講習会を開催する。
年間100人のリーダーを養成するとともに、活動できるリーダーを毎年30人以上は養成する。
- (5) 未来その3 ～30年後までに達成する目標～
- ・巡回指導
県内全ての幼稚園保育園に毎年1回以上巡回指導で訪問する。
サッカーの楽しさを伝える活動と、希望の園にはサッカーがさらに上手になる活動を行う。
 - ・フェスティバル
県内全ての市町村で毎年1回以上フェスティバルを開催する（33市町村）

たくさんの友達とふれあう機会を作る活動を行う。

- ・県内全ての市町村にキッズインストラクターを配置。キッズリーダー取得者

(6) 今 ~今、進む道~ (未来に入れていない“夢目標”も含む)

- ・継続

これまでの事業を、精選しながら継続をする。

- ・質の向上

10年経って、新しい気持ちを持ち続けられないスタッフが出てしまっている。マンネリ感を打破し、次の10年をよりよいものにするために、初心に戻ってグリーンカードの精神を忘れずに指導をする環境を作りたい。

指導の質の向上なくして、これからの岩手のキッズの繁栄はない。

危機感を持って指導の研修ができる環境整備をしたい。

- ・巡回指導、フェスティバル、指導者養成の3本柱

JFA から出ている方針の3本柱はこの3つである。ここが初心。ここを強化していくことが大切。岩手はたくさんの事業を展開しているが、初心の核の部分、より精度を高められるようにしたい。

- ・エリートプログラム

2カ所で行っている。希望者によるスクール形式で行っている。5年以内には、選抜形式でもやってみたい。そのために、ここ数年行っている交流会の機会を活用したい。

- ・補欠0リーグ

岩手独自の取り組みである「補欠0リーグ」。補欠を作らずにたくさんゲームをしていく取り組み。継続しつつ、質の向上も考えて次の10年を見据えたい。

- ・スクール

月が丘幼稚園でまもなく10年目を迎える。

月が丘幼稚園さんのご厚意と手厚い支援のおかげで継続できている。子どもたちのニーズ応じて、展開できる場としていきたい。

また、希望の場所があれば拡大展開もしていきたい。

3 終わりに

2004年(平成16年)の5月。千葉県エアロビクスセンターにおいて、キッズインストラクター研修会に参加した出口忠一氏、瀬谷圭太。この2人が始めた岩手FAにおけるキッズの取り組み。グリーンカードと夢を持って展開してきました。

たくさんの方々の協力のおかげで、ここまで事業を続けることができました。

これからも岩手の子どもたちのために、キッズに関わる指導者が次のような言葉を胸に秘めて頑張っていきたいと思います。

★IWATE KIDS WAY 4箇条

- ① 「OPEN MIND」で人の意見に耳を傾け、プラスに考える思考。
- ② 「HARD WORK」を心がけ、常に人のために尽くすために考えて全力で動く行動。
- ③ 「GREEN CARD」に代表される相手をリスペクトし、ルールを守る姿勢。
- ④ 「TEAM WORK」を考え、仲間とともに心を一つに全力を尽くす集団。

* 下線部を合わせると「IWATE」となります！